

<アンケート調査について>

■調査の目的

- ・「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたり、結婚・出産・子育ての希望や仕事などに関して、市民や企業等の意向を反映したものとするため。
- ・市民に人口減少という現実を認識してもらい、施策に対する理解を深めてもらうため。

■調査の種類と概要

調査の種類	対象	回収数	回収率
1. 市民アンケート調査	市内在住の18歳以上3,000人	977人	32.6%
2. 事業所アンケート調査	市内の企業1,000社	307社	30.7%
3. 高校生世代アンケート調査	市内在住の15歳以上18歳以下500人	76人	15.2%
4. 中学生アンケート調査	市内在住の中学3年生1,040人	823人	79.1%
5. 転出者アンケート調査	18歳以上の転出者296人	35人	11.8%
6. 転入者アンケート調査	18歳以上の転入者197人	22人	11.2%

■調査票配布 平成27年6月上旬随時

■回答の期限 平成27年6月30日

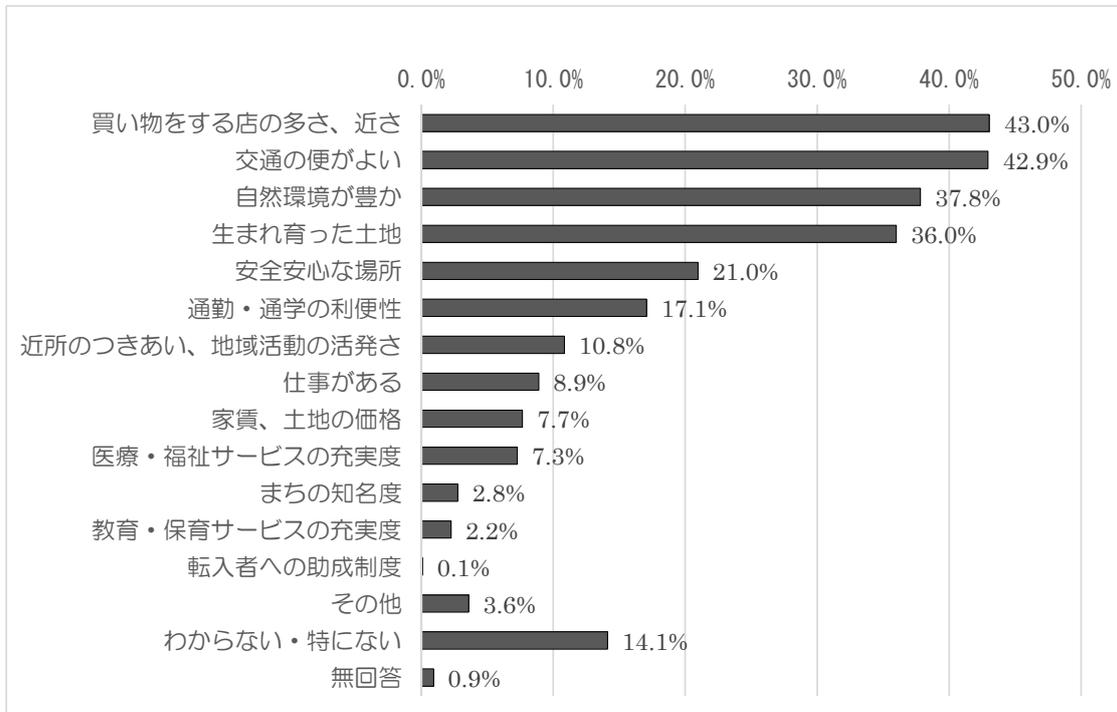
(注記)

- ・回答結果の構成比は、回答数に対してそれぞれの占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または、回答の判別が困難なものです。

1. 市民アンケート調査

1. 泉佐野市が住みやすいと感じる点

買い物をする店の多さ、近さや交通の便がよいと感じている人が多い。



(複数回答可)

<住みやすさに関する市内の居住地別の比較>

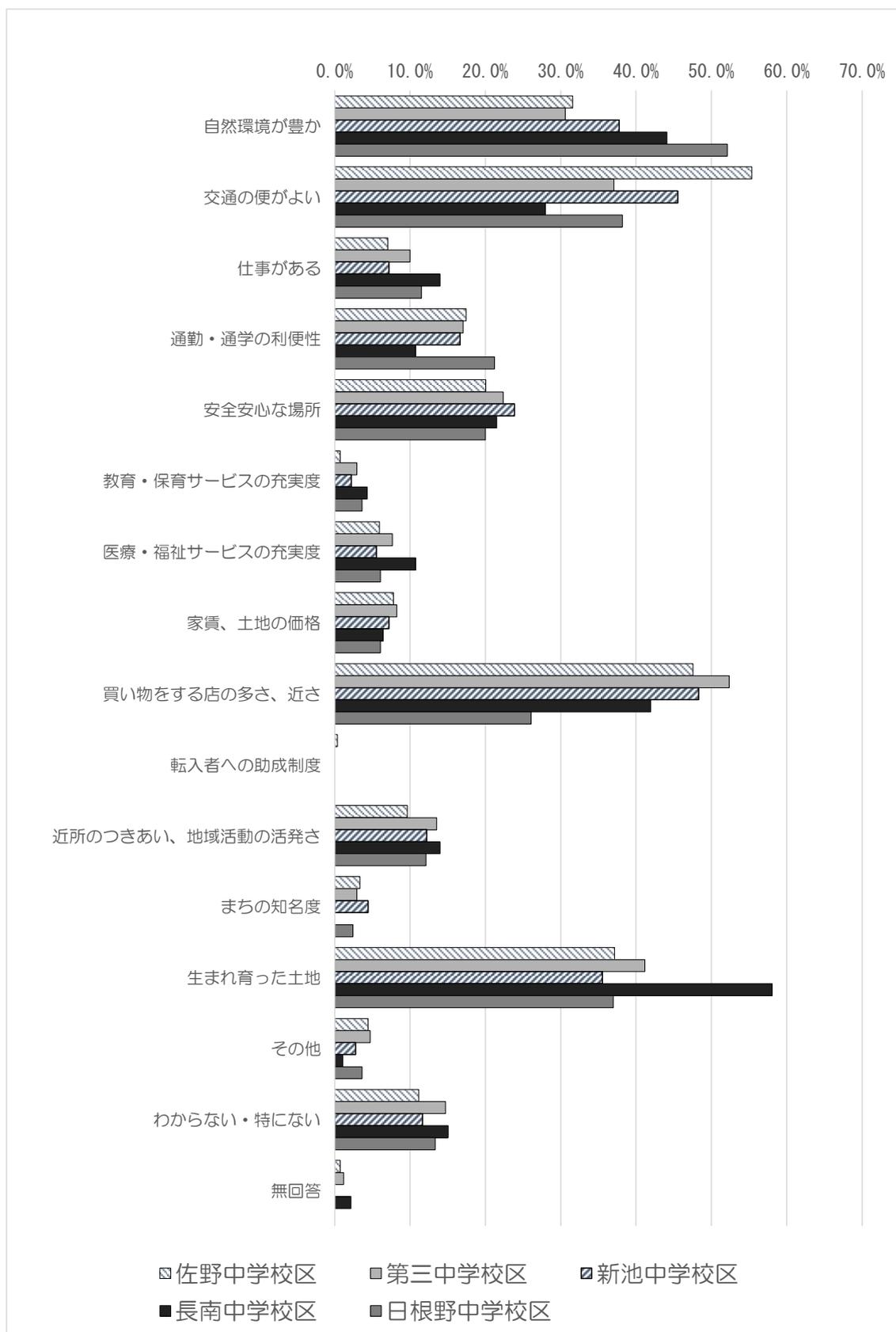
住みやすさを感じる点について、泉佐野市内の居住地区間で違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：次ページ「【参考】居住区別クロス集計」)

最も回答が多かった「買い物をする店の多さ、近さ」については、第三、佐野、新池中学校区が多く、逆に日根野中学校区は少なく他地区の半分程度となっています。このことから、日根野中学校区の方は「買い物をする店が多い、近い」といった住みやすさをあまり感じていないと推察されます。

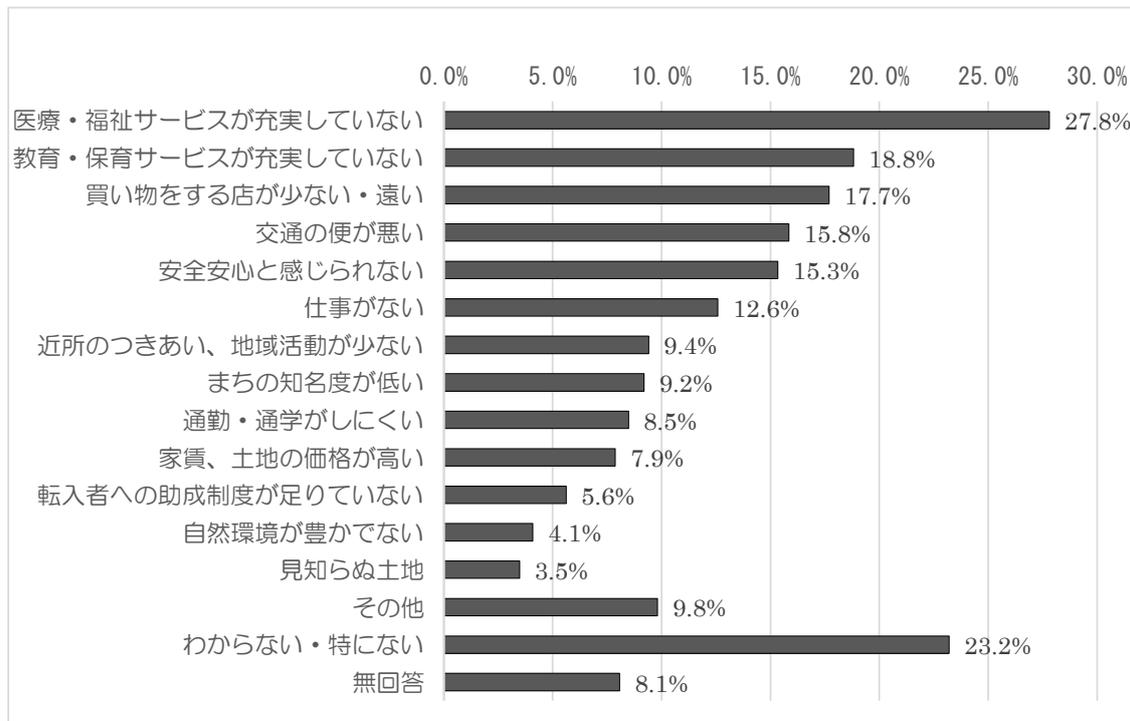
また、次点の「交通の便がよい」については、長南中学校区が最も少ない結果となっています。一方、日根野中学校区は、交通の便については得票数を伸ばし、中間順位となっており、第3位の「自然環境が豊か」については、日根野、長南中学校区が多く、「買い物をする店の多さ、近さ」と逆相関の関係が見られます。

【参考】居住区別クロス集計



2. 泉佐野市が住みにくいと感じる点

医療・福祉サービスが充実していないと感じている人が多い。



(複数回答可)

<主な回答>

◆充実していない医療・福祉サービスについて

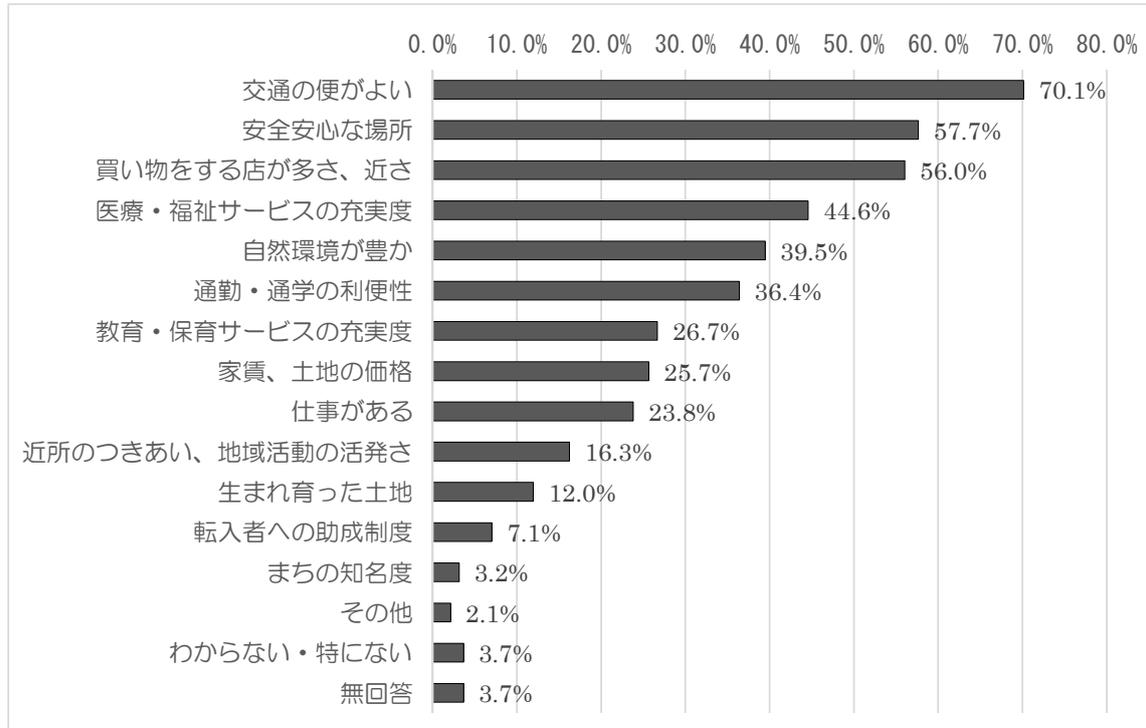
- ①義務教育の間は医療費を無料にして欲しい。
- ②夜間、休日診療をしてもらえるところが少ない。
- ③車などがなくても病院に通院しやすいようなサービスがあると嬉しい。
- ④高齢者を含めて「未病」にするための施策がないように思う。 など

◆充実していない教育・保育サービスについて

- ①大阪南部は北部に比べ教育（学力）が低い。
- ②学童保育を6年生まで引き上げてほしい。
- ③病児保育設備がない。延長保育の時間が短い。
- ④未就園児の一時保育制度がない。 など

3. 住む場所を検討する際に重視する点

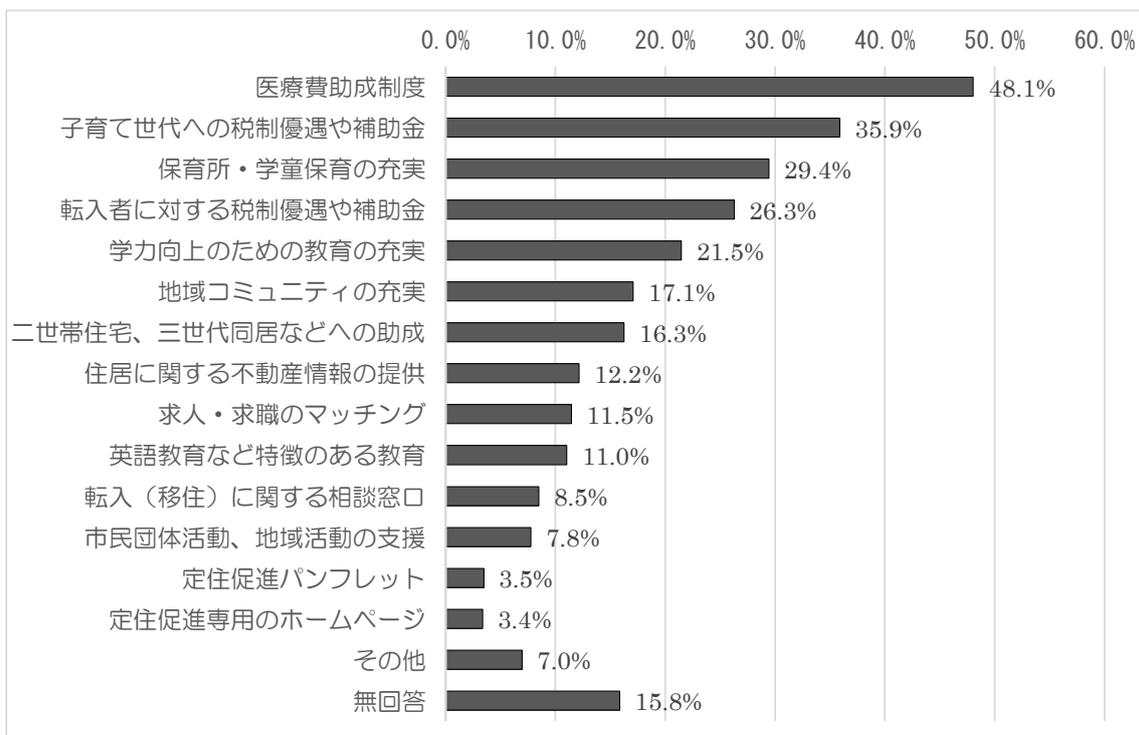
交通、買い物等の利便性が高く、安心安全な場所を重視する人が多い。



(複数回答可)

4. 住む場所を決めたり、住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービス

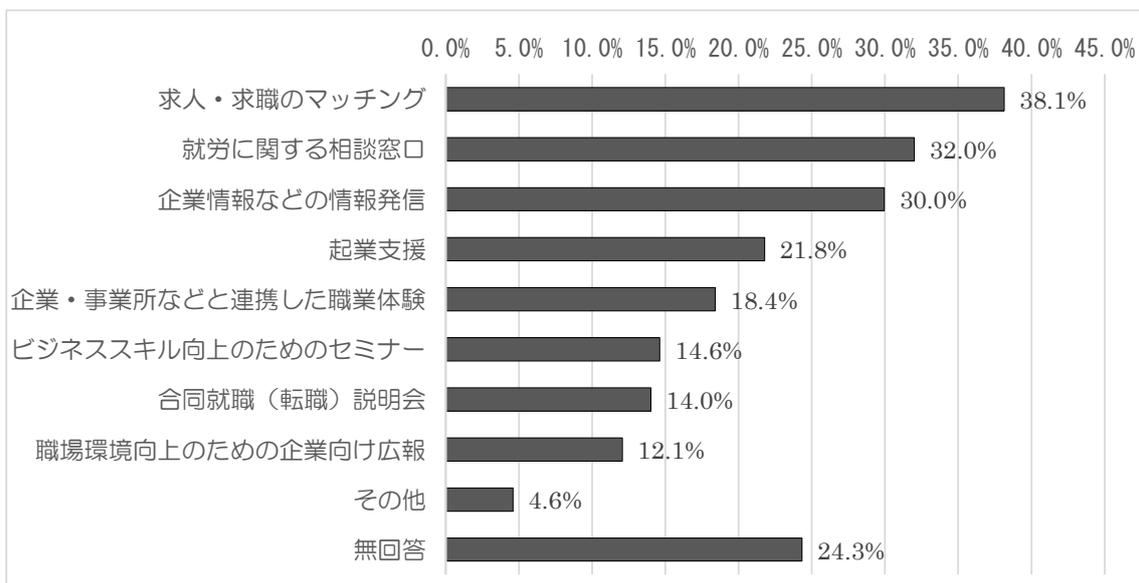
医療費助成制度や子育て世代への補助等の経済的支援を望む人が多い。



(複数回答可)

5. 就労機会の向上等に向けて、泉佐野市が重点的に取り組むべきと感じるもの

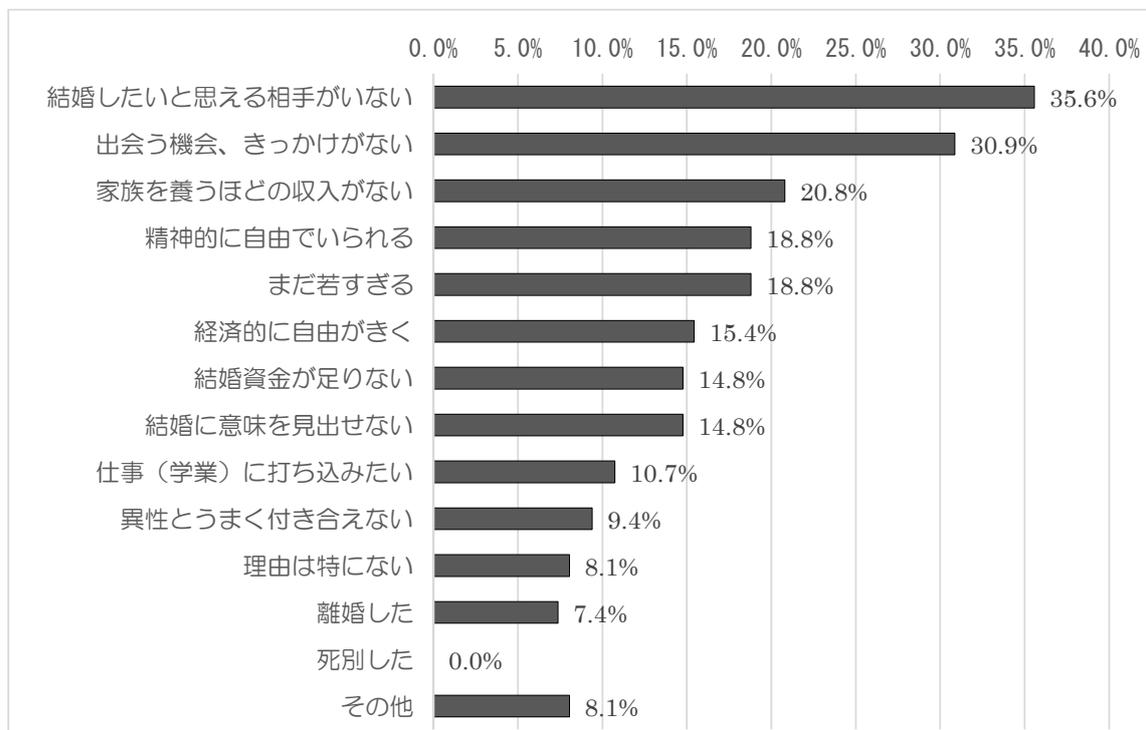
求人・求職のマッチング、就労に関する相談窓口、企業情報などの情報発信の重要性が高い。



(複数回答可)

6. 結婚していない理由

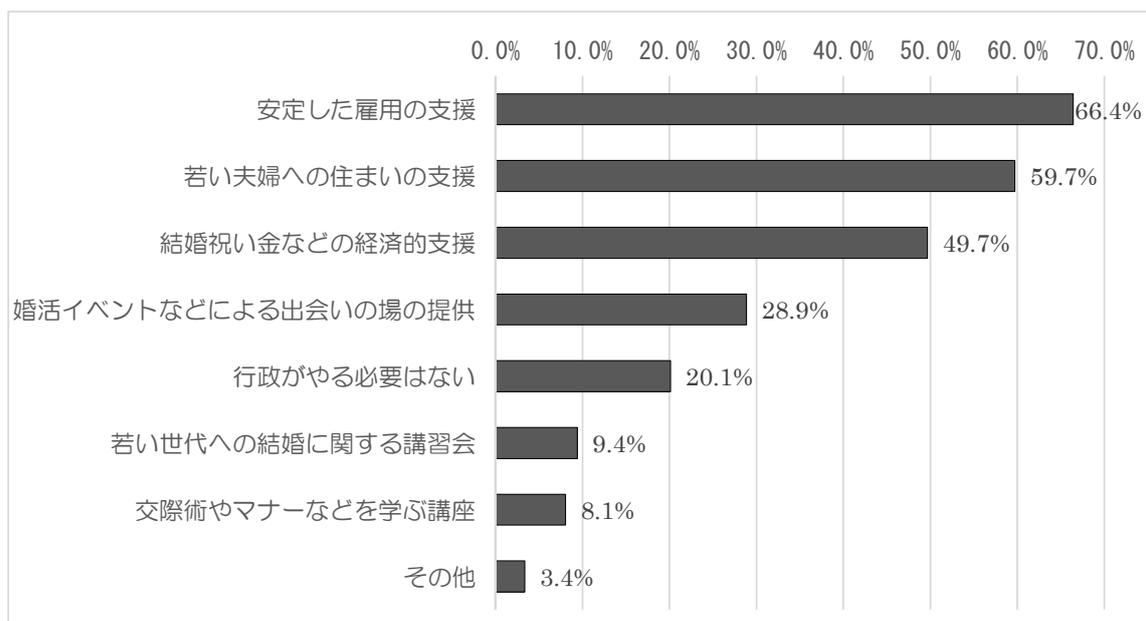
結婚したいと思える相手がないの次に、出会う機会、きっかけがない人が多い。



(複数回答可)

7. 泉佐野市が重点的に取り組むべき結婚支援事業

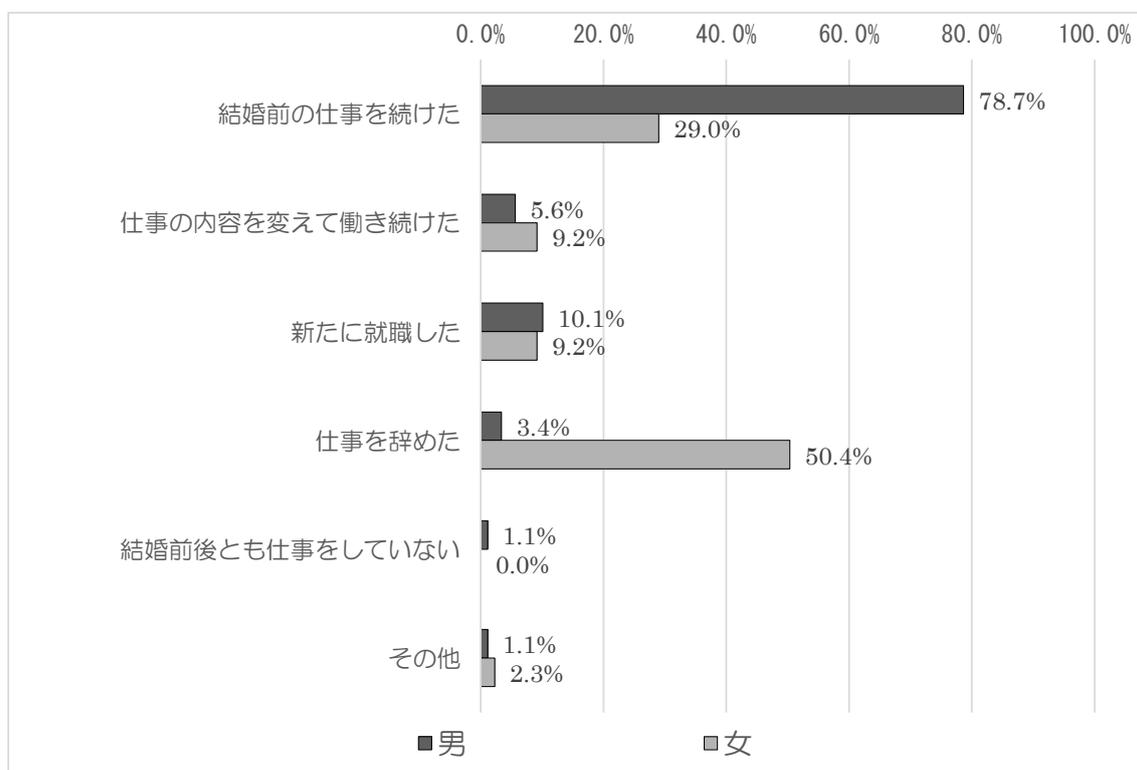
安定した雇用、住まい・結婚祝い金などの経済的支援を望む人が多い。



(複数回答可)

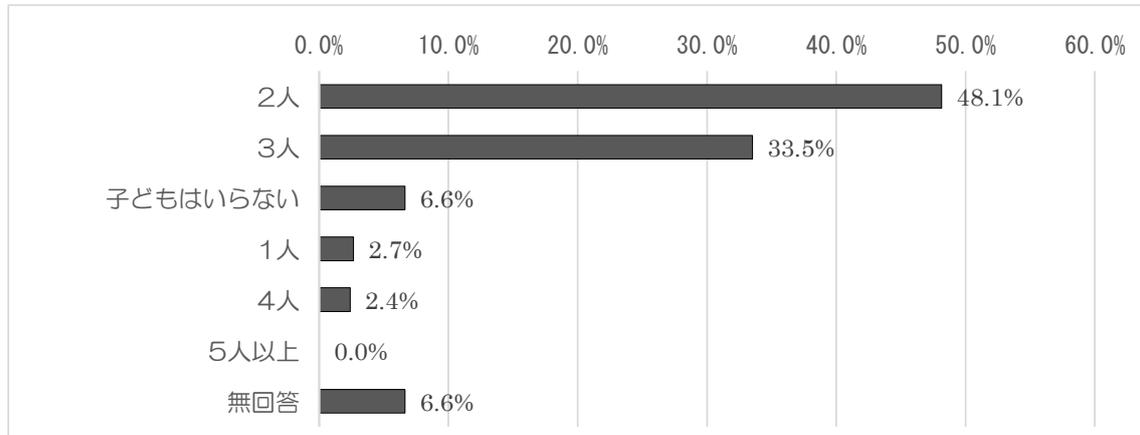
8. 結婚を機に働き方はどうなったか

男女差が大きく、女性の半分は結婚後に仕事を辞めており、結婚前の仕事を続けた女性は29%しかいない。



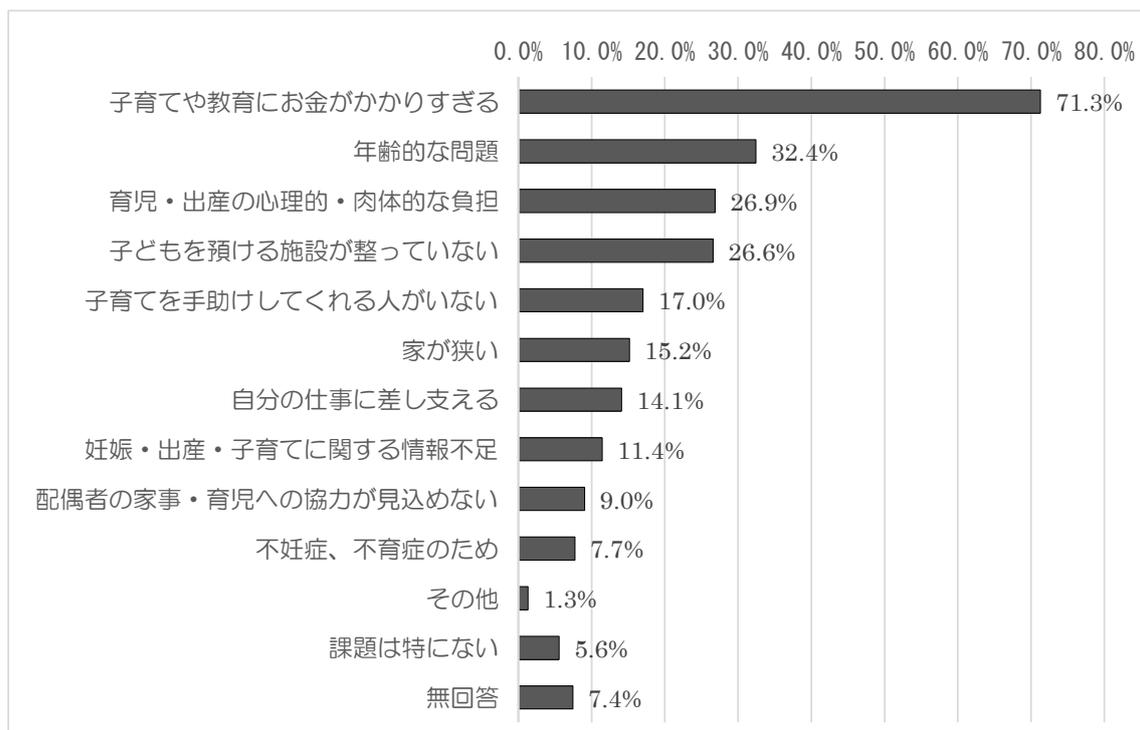
9. 理想的な子どもの数

加重平均で2.31人が理想的な子どもの数としており、現状の子どもの数1.25人に比べ、1人の差がある。



10. 理想的な子どもの数を実現するための課題

子育てや教育にお金がかかりすぎることを課題に挙げる人が最も多い。

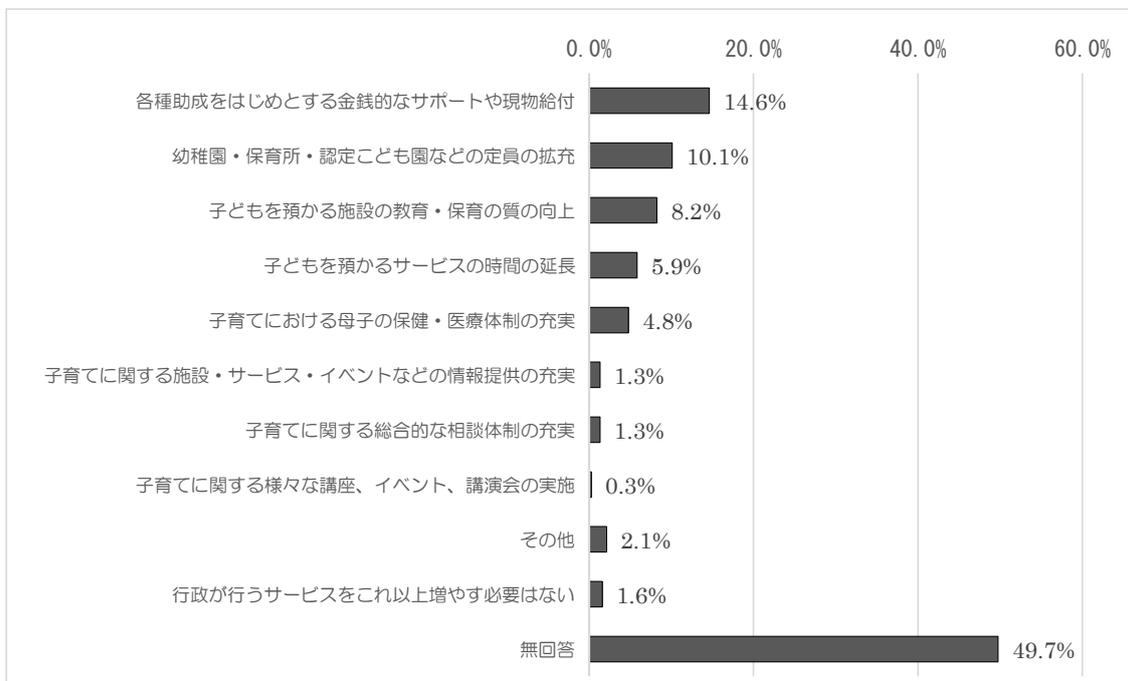


(複数回答可)

この他、理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない方を対象とした、理想の子どもの数と差がある理由についても、子育てや教育にお金がかかりすぎることを理由に挙げる方が62.5%と最も多い結果となっている。

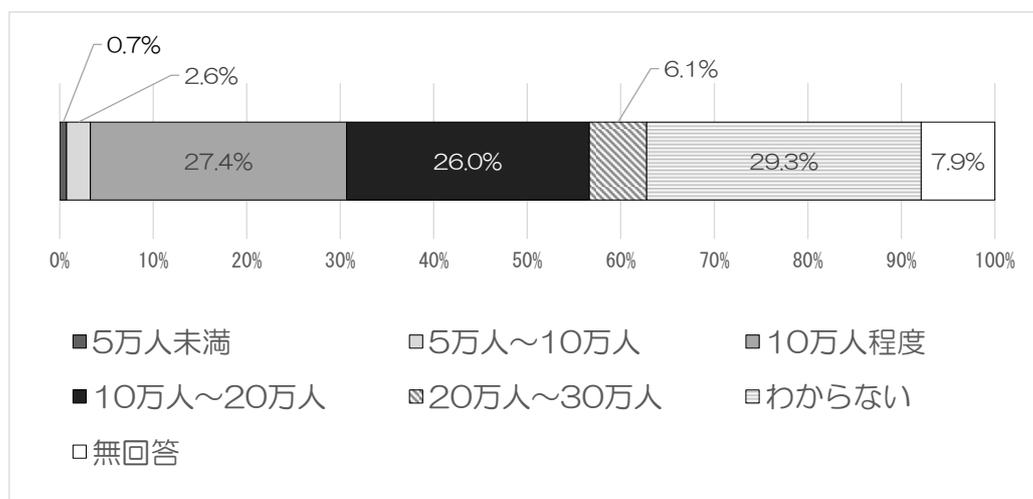
11. 今後、育児に関するサービスとして、泉佐野市が最も力を入れるべき施策

金銭的なサポートや子ども園等の定員拡充を望む人が多い。



12. 泉佐野市の将来人口

10万人または20万人までがちょうどよいと思っている人が多い。



13. 今後、人口減少が進んでいくと、最も困ることは何か

<主な回答>

- ①介護サービスの従事者が減少し、十分な介護サービスが受けられない。
- ②近所が高齢者ばかりで、災害が生じた時にどれだけ力になれるか心配。
- ③いつか車の運転ができなくなり、買物難民になるのではと不安。
- ④あらゆることで、今より生活水準が下がる。

14. 泉佐野市が活性化し、人口減少に歯止めをかけるためには、市として何を重点的に進めるべきか

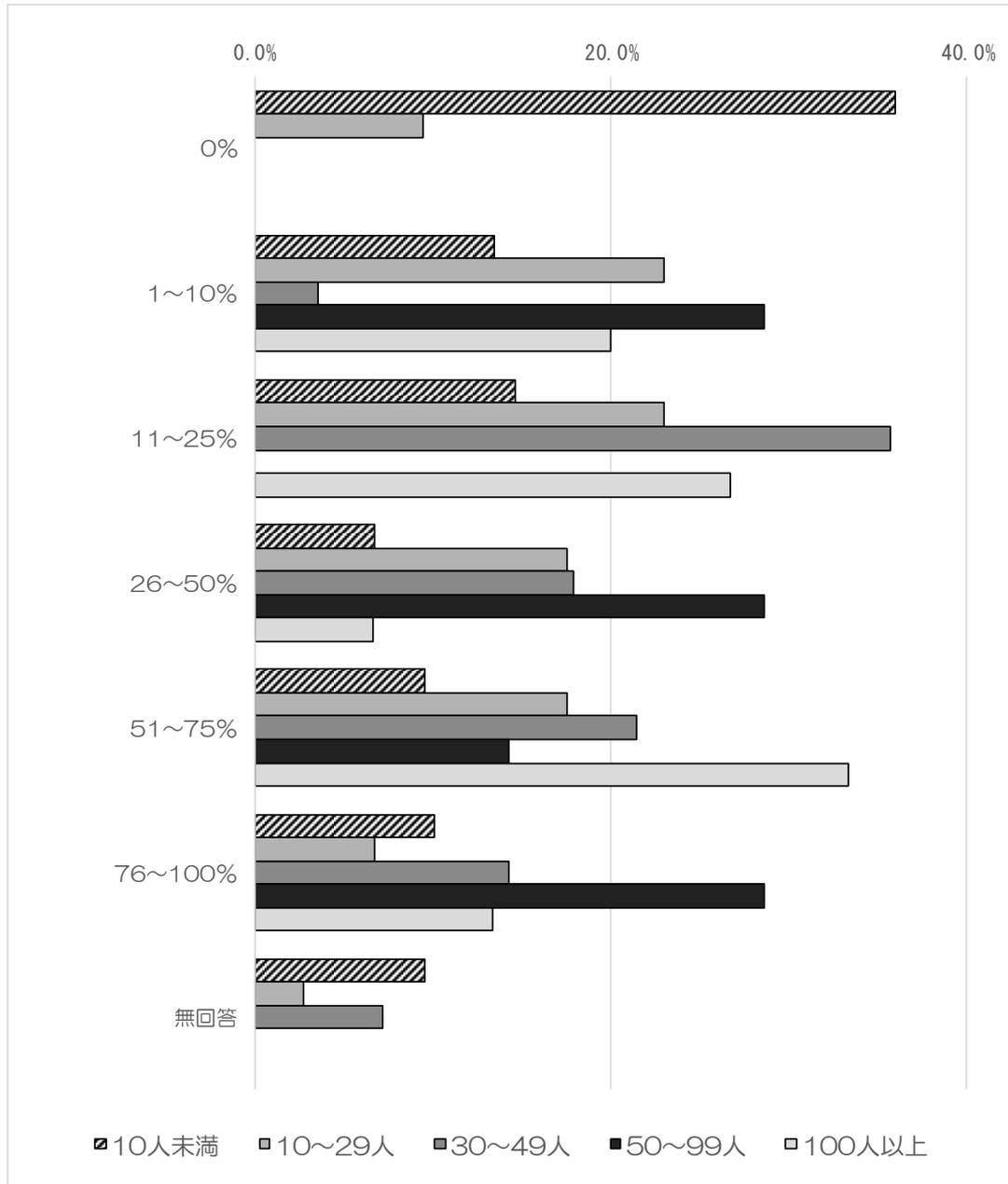
<主な回答>

- ①泉佐野駅周辺の商業地域とりんくうタウンを結ぶ地域をあわせ、魅力ある商業地域を作り活気を取り戻す。商店街に空き家が目立つ今だからこそ、新しい町を作り直すチャンス。
- ②医療の充実と並行して、病気にならない身体づくりを行政としてスポーツ施設や指導者を増やしていく努力が必要。

2. 事業所アンケート調査

1. 有給休暇取得率

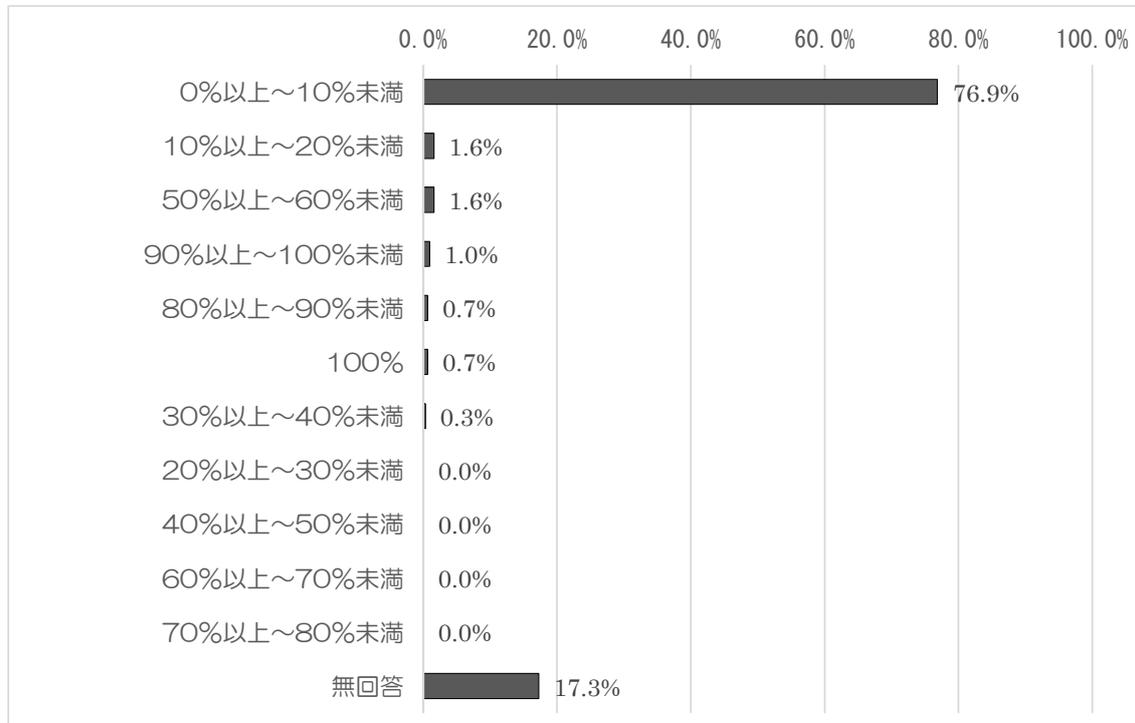
有給休暇取得率は、事業所規模が大きくなるほど高くなっている。



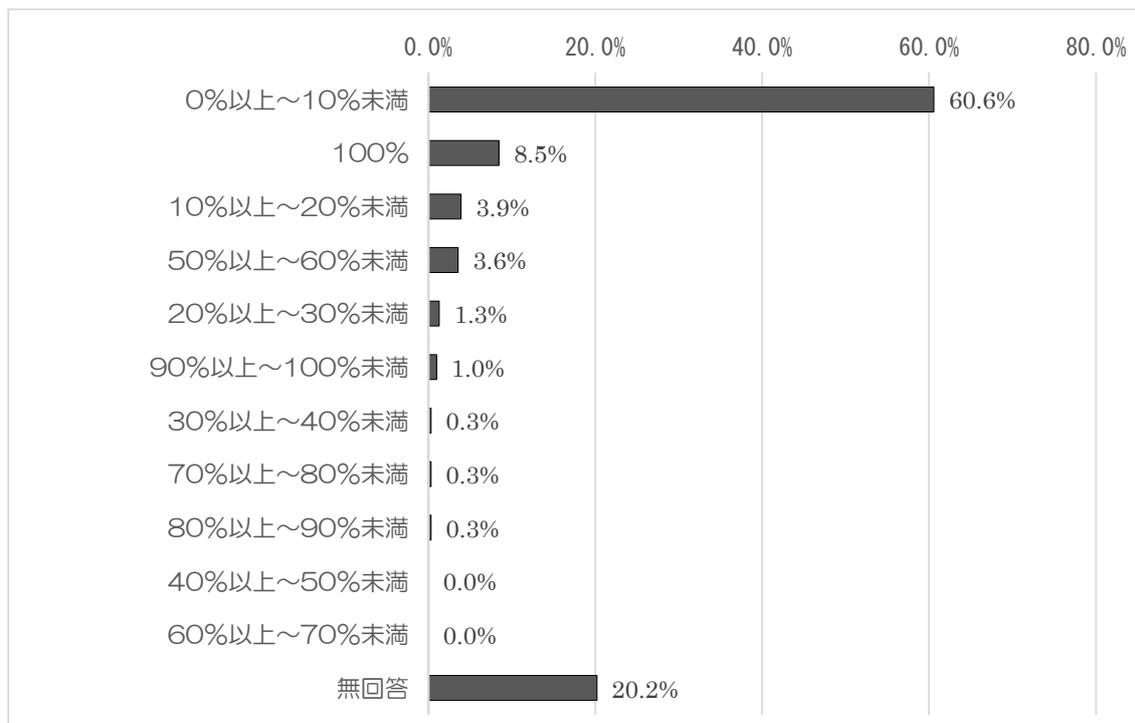
2. 男性・女性の育児休業取得率

男性、女性とも取得率10%未満が突出している。

【男性】

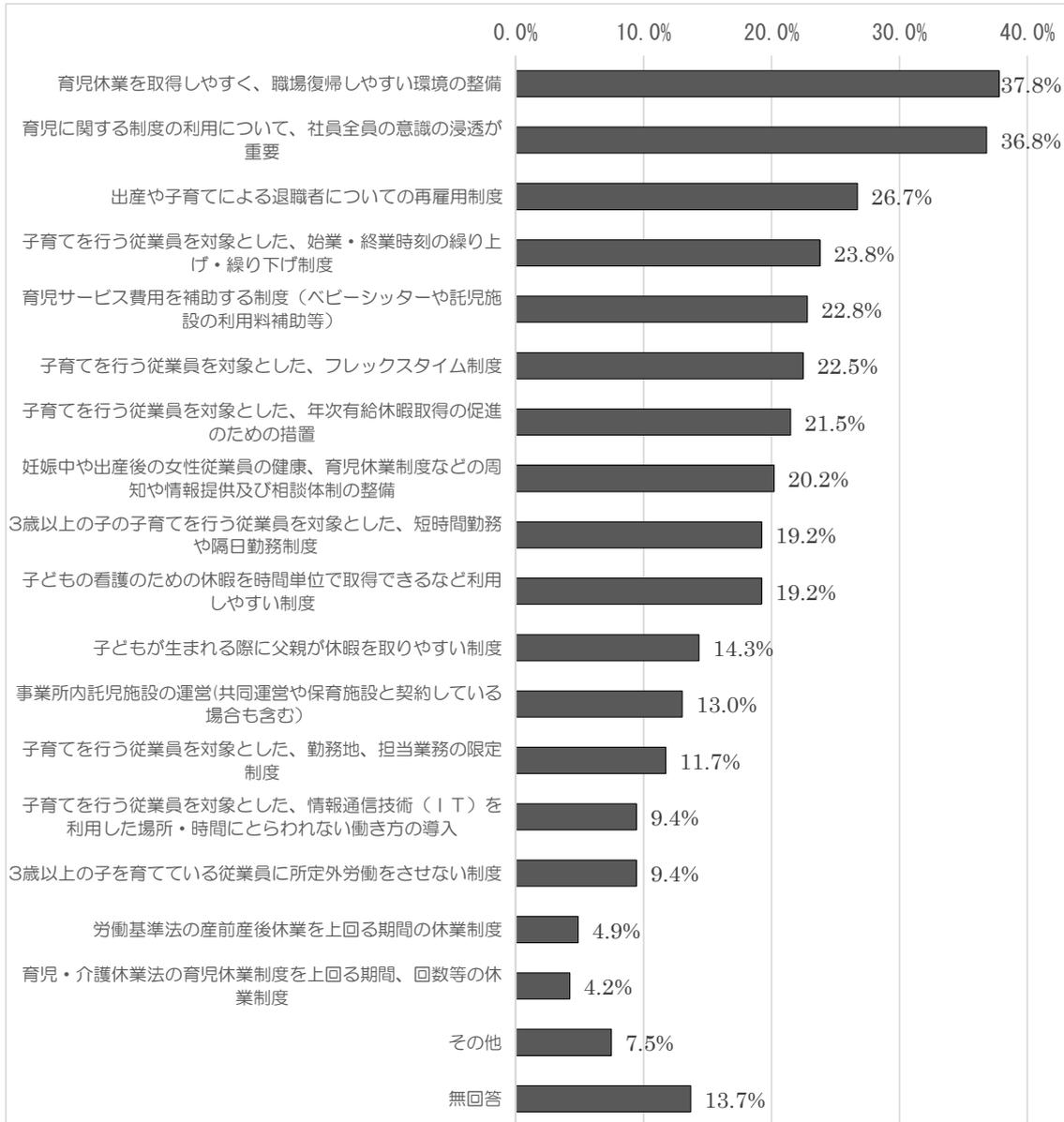


【女性】



3. 結婚、妊娠、出産後も継続して女性が働くために必要なこと

育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備が必要であり、また、そのことを社員全員の意識に浸透させることが重要だとする事業所が多い。

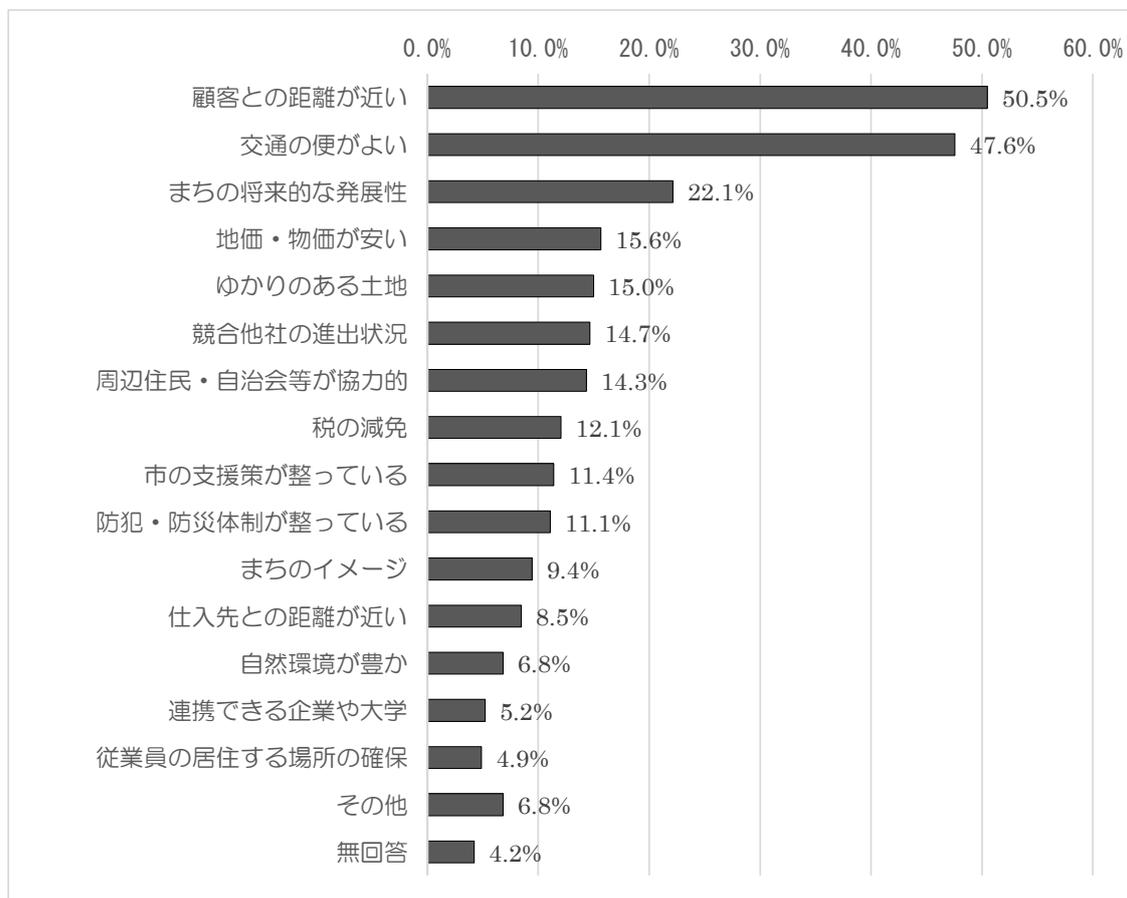


（複数回答可）

※ 選択肢中の‘子育てを行う従業員’は、男性社員を対象として含む。

4. 拠点の立地を検討する際に重視する点

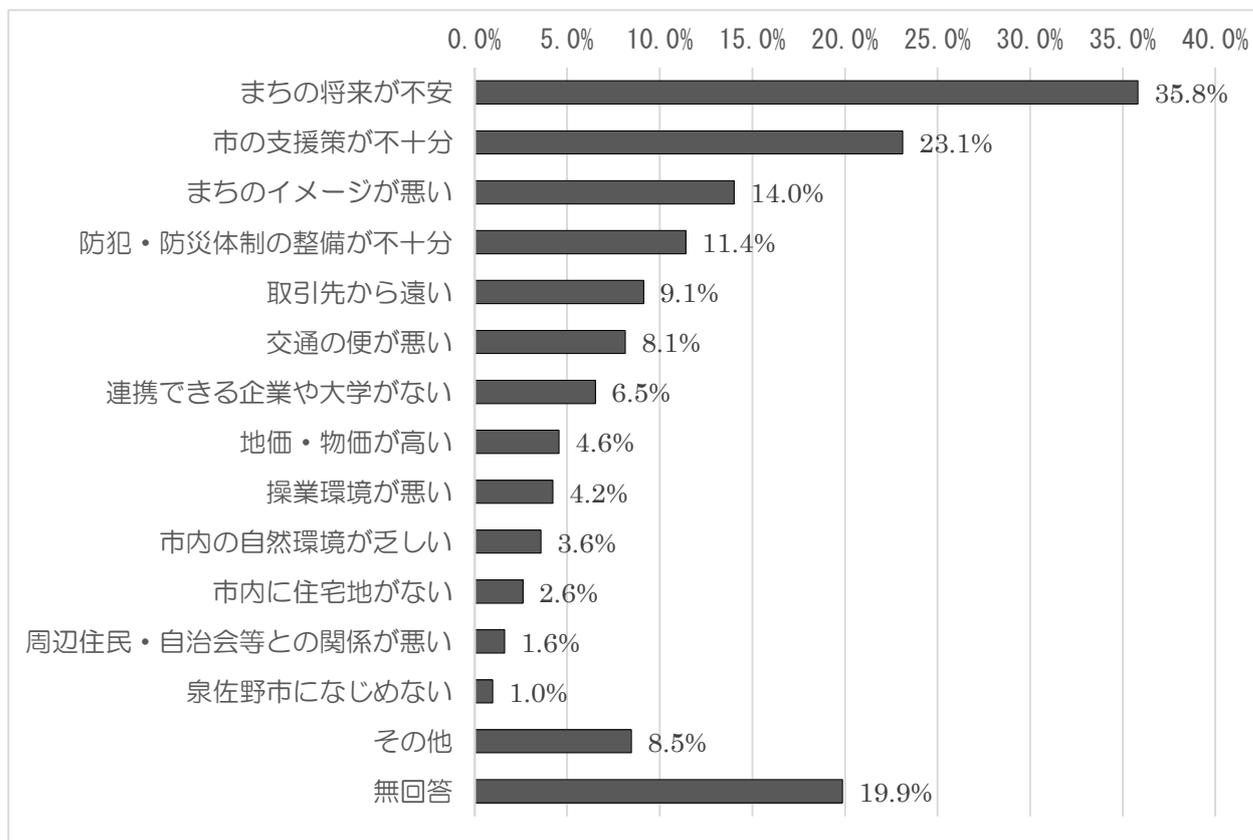
顧客との距離や交通の便など、アクセスの良さを重視する事業所が多い。



(複数回答可)

5. 泉佐野市で事業を続ける中で、泉佐野市で足りていないと思う点

地場産業の衰退などまちの将来に不安を感じることに次いで、商店街などに対する市の支援がもっと必要との意見が多い。



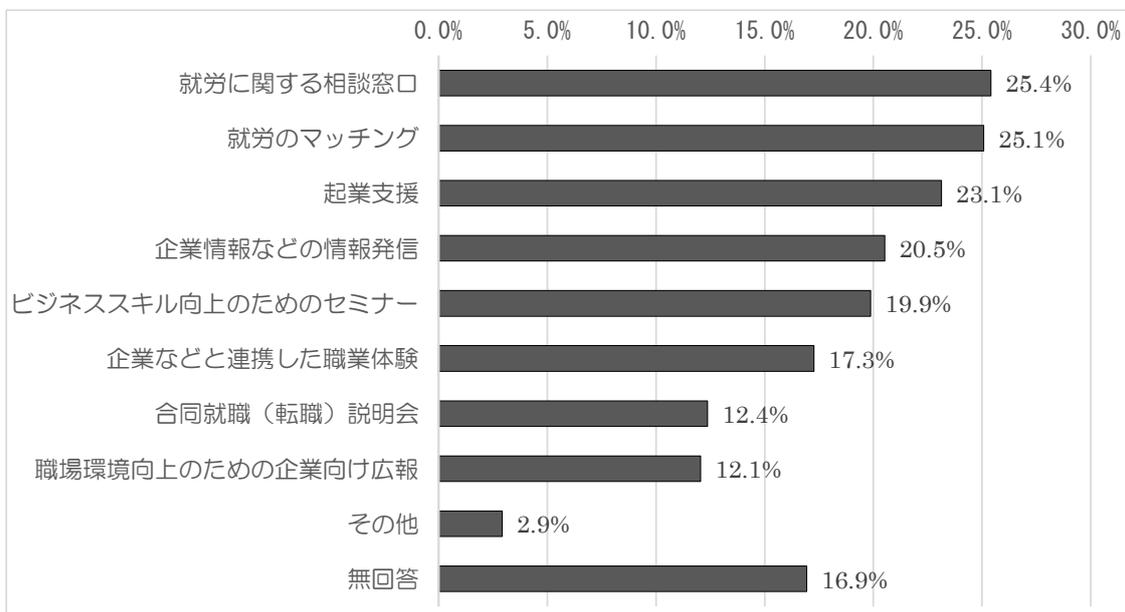
(複数回答可)

<自由コメント欄の主な回答>

- ①りんくう周辺の開発の遅れ、地場産業の衰退。
- ②商店街がシャッター通りにならないよう、市の支援がもっと必要だと思います。
- ③海外からの旅行者の通過点だけになっている。
- ④大きな雇用を生み、人の集まる空港なのに、交通の便が悪いという印象を持たれているのがすごくもったいない。
気軽に空港に行こうと思える費用であれば、アミューズメント施設としての空港になり、空港内にもユニークな事業者が進出するのでは。

6. 就労機会の向上等に必要な行政サービス

就労相談、就労のマッチング、起業支援など、全般的な取組みが必要。



(複数回答可)

7. 泉佐野市が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるために、どのような施策を重点的に進めるべきか

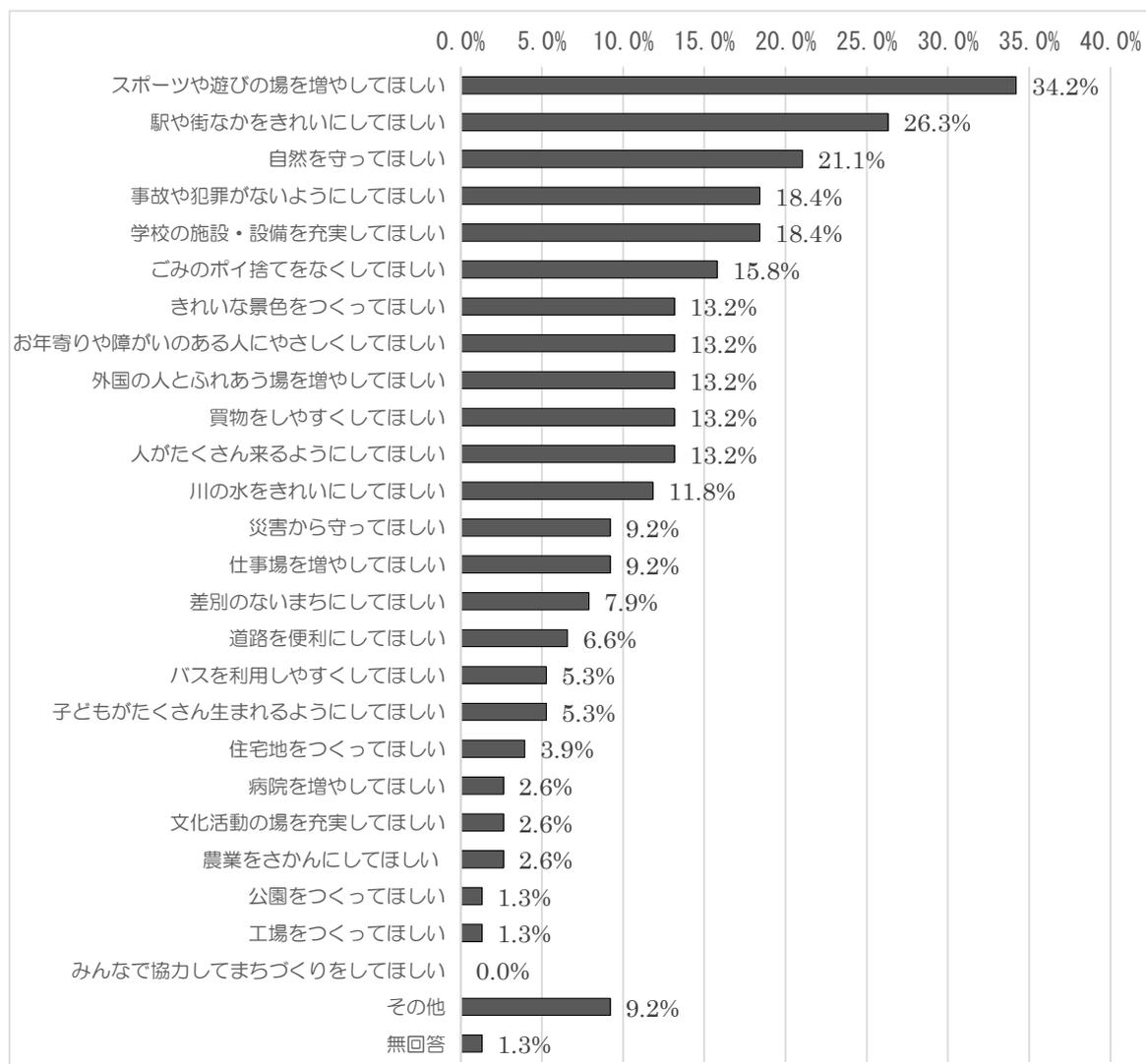
<主な回答>

- ①3人目、4人目の子育て支援策。
- ②古民家と農地活用、空家の低価での貸出。
- ③農業の活性化（貸し農園を増やす。社会人でも週末に学べる農業研修基幹の設置。外国人を研修するなど農業を通じた交流の活性化。）
- ④シャッター商店街となってしまうつばさ通、春日通商店街などの活性の手助け。店舗貸出の援助など。

3. 高校生世代アンケート調査

1. 将来、泉佐野市に望むこと

スポーツや遊びの場を増やし、駅や街なかをきれいにすることを望む人が多い。



(3つまで回答可)

2. 2060年までに泉佐野市が「こうなっていてほしい」、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」と思うこと

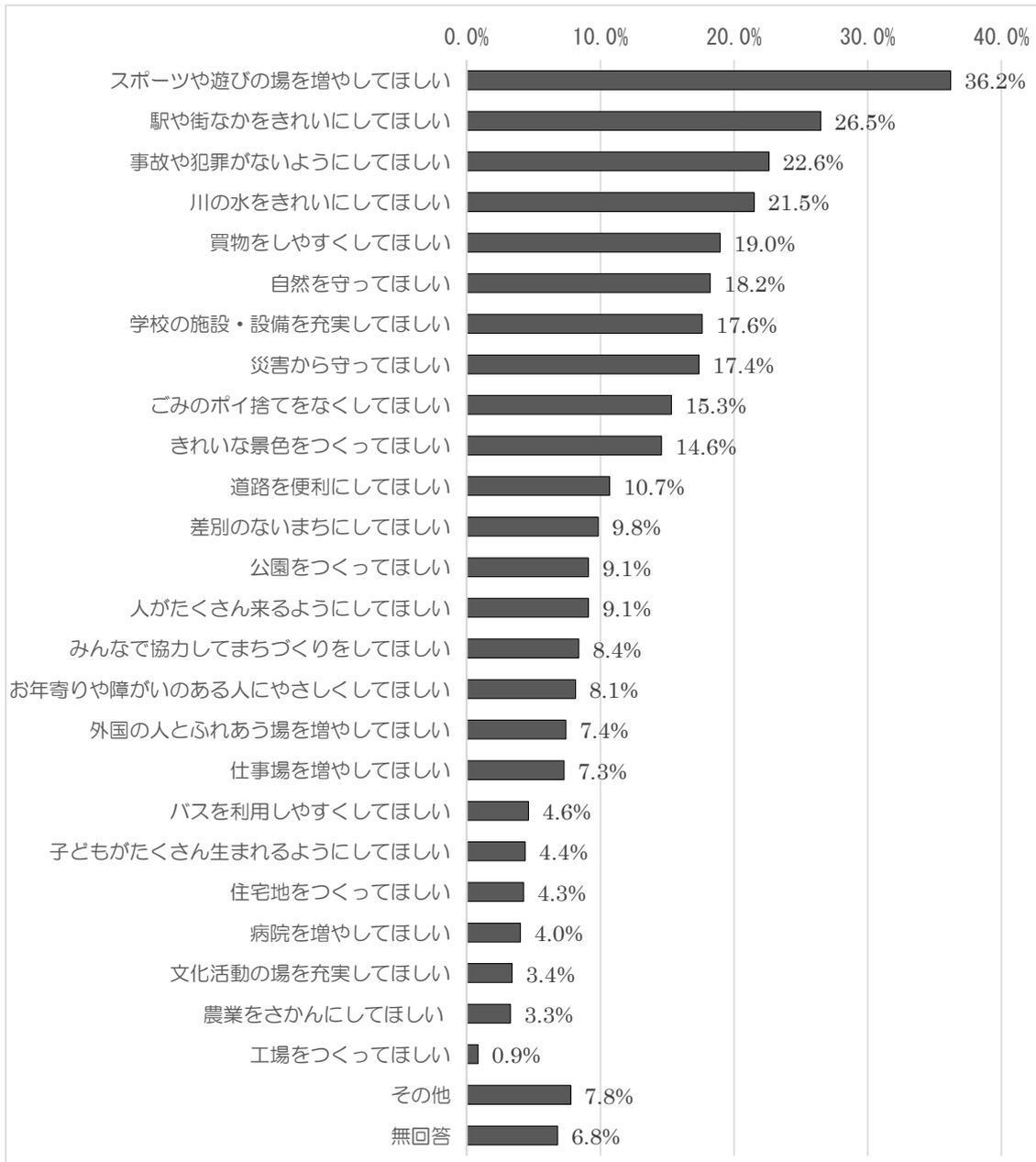
<主な回答>

- ① 関空が近くに立地しているので外国人に来てもらい、泉佐野市を通過点にせずに来客していただくのにもっと頭を使うべきでしょう。
例えば、医療ツーリズムに力を注ぐことで、りんくう総合医療センターの活性化など。
- ② 自然が豊かでゴミの落ちていない、きれいで市内のみんなが協力し合える市にしたい。

4. 中学生アンケート調査

1. 将来、泉佐野市に望むこと

高校生世代と同様、スポーツや遊びの場を増やし、駅や街なかをきれいにすることを望む人が多い。



(3つまで回答可)

2. 2060年までに泉佐野市が「こうなっていてほしい」、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」と思うこと

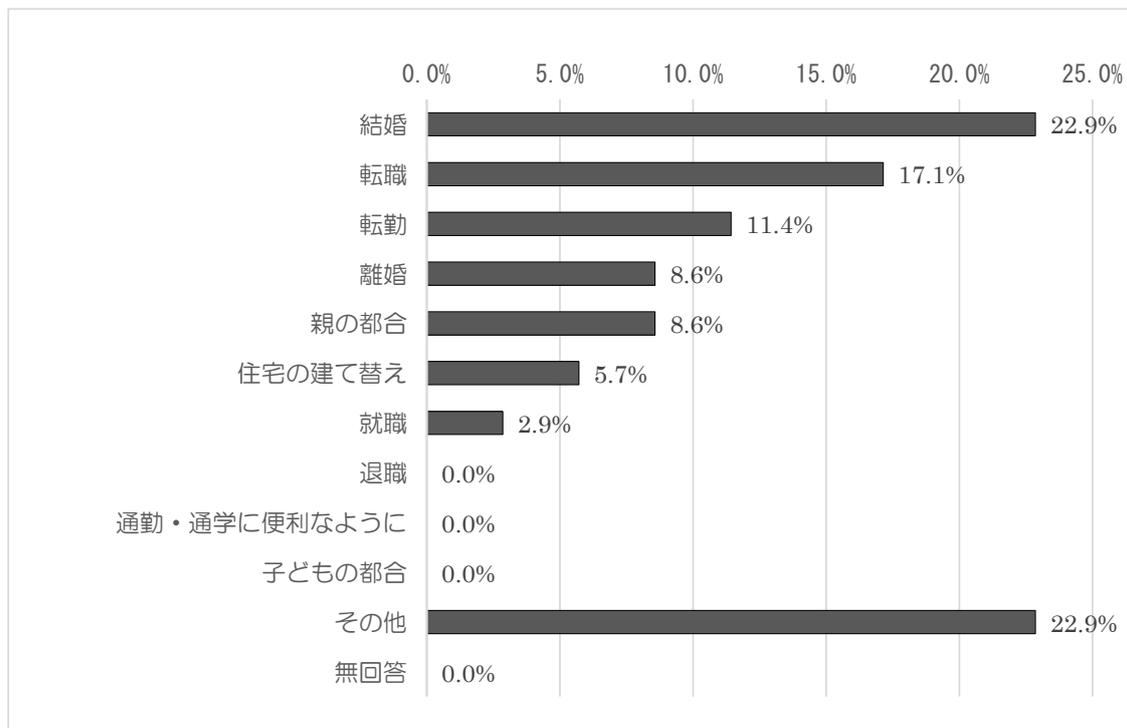
<主な回答>

- ①2060年にはゲートタワービルの2棟目が見たいな。
- ②泉州の中心地になって欲しい。
- ③借金が無くなって、公共施設の利用料が安くなって欲しい。

5. 転出者アンケート調査

1. 転出することになった最も大きなきっかけ

結婚など個別の事情によるもので、行政サービスが影響しているものではない。

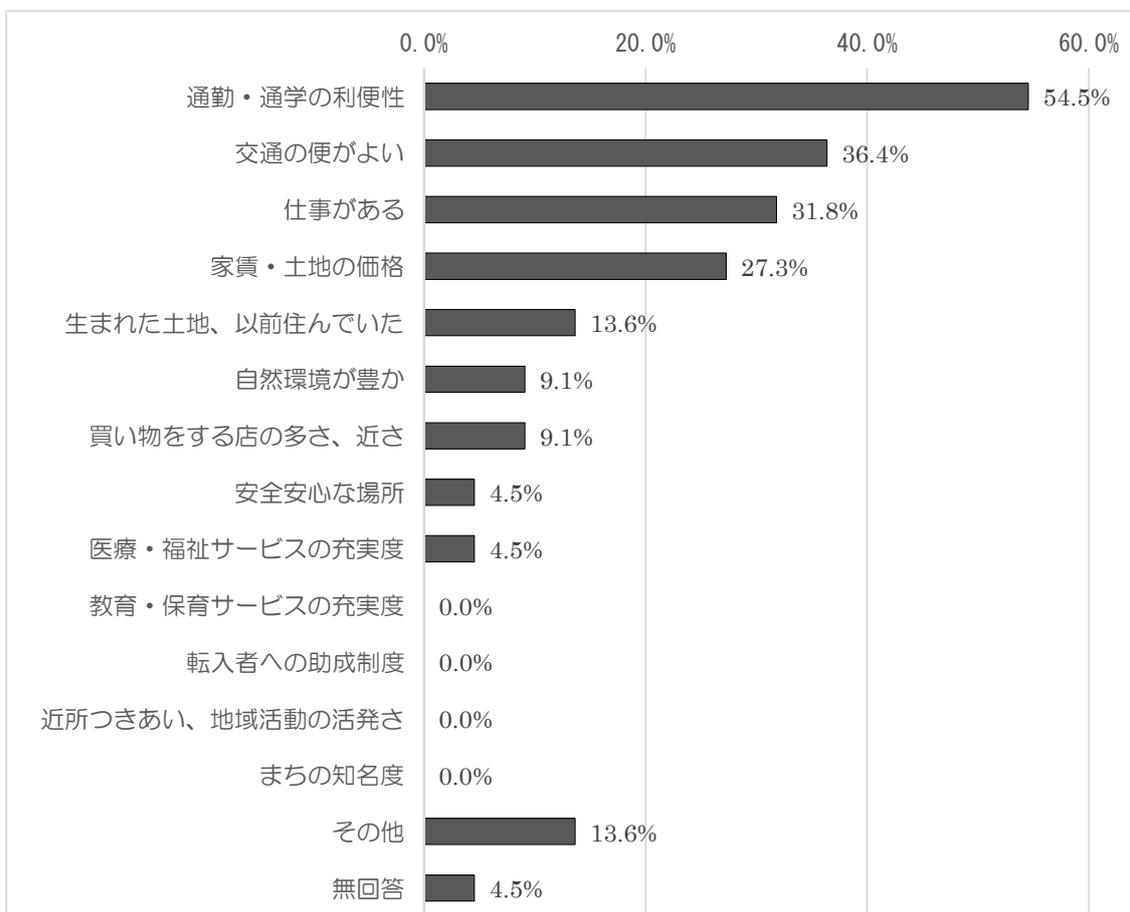


※ その他については、寮からの退寮や子どもと同居するためなど。

6. 転入者アンケート調査

1. 泉佐野市に住まいを決めた主な理由

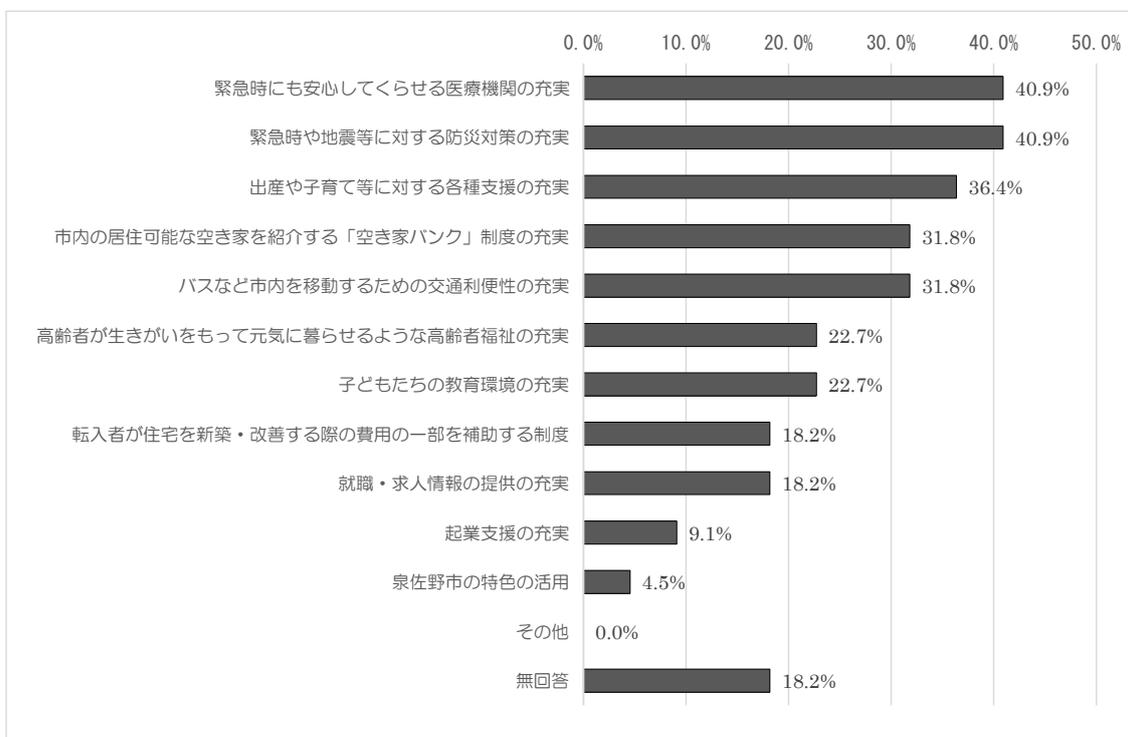
通勤・通学の利便性や交通の便のよさで決めた人が多い。



(3つまで回答可)

2. 泉佐野市の居住者を増やすため、今後どのような移住・定住支援策に取り組んだらいいか。

医療機関や防災対策、子育て等に対する各種支援の充実を求めるものが多い。



(複数回答可)